

文京区補助金等チェックシート（実績検証用）

所属 区民部区民課庶務係
 問合せ先 03 - 5803 - 1169
 6年度調査

1 補助金の名称等

補助金の名称	山村体験交流事業協賛金					
根拠規定等	施設の管理及び運営に関する協定書 別紙「四季の郷 薬師温泉 やまびこ荘運営方針」 「文京区と魚沼市観光協会との交流事業に関する協定」					
創設年月	平成	23	年	4	月	経過年数 (自動計算)
						13年
終了予定年月						
見直し年月	令和	2	年	3	月	経過年数 (自動計算)
						5年
見直しの内容	山村体験交流事業協賛金(魚沼市観光協会主催事業)の旅行取扱手数料変更(総額の10%→総額の20%)					
予算科目	款	項	目	大事業	中事業	計画事業番号
	3 区民費	1 区民行政費	1 区民行政総務費	14 山村体験宿泊施設事業経費	2 事業運営費	133
補助金の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 奨励的補助 <input type="checkbox"/> 施設運営補助 <input type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給					

2 補助金の概要

補助目的	山村体験交流事業の安定的な事業の運営を図るため。					
補助事業等の内容	やまびこ荘及び魚沼市観光協会が企画・実施する山村体験交流事業 雪まつり実行委員会(魚沼市商工観光課内)が企画・実施する魚沼夏の雪まつり 湯之谷薬師スキー場管理組合が企画・実施する薬師スキーカーニバル					
補助対象経費の内容	山村体験交流事業の実施にかかる経費の一部負担。					
補助事業者等	<input type="checkbox"/> 区民 <input type="checkbox"/> 地域活動団体 <input type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input checked="" type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> その他 [特定の相手方に補助している場合は具体的に記入] 湯之谷薬師スキー場管理組合、うおぬま夏の雪まつり実行委員会、魚沼市観光協会					
補助金の算出	<input type="checkbox"/> 定率 [] <input checked="" type="checkbox"/> 定額 [やまびこ、カーニバル 40,000円 観光協会、雪まつり 80,000円] <input type="checkbox"/> 補助単価 [補助単価 単位] <input type="checkbox"/> その他 [その他の場合は具体的に記入] [定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入]					
公募の状況	非公募					
実績報告書時における用途の確認方法	<input type="checkbox"/> 領収書 <input type="checkbox"/> 契約書 <input checked="" type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 成果物 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [依頼文]					
補助・単独の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 区単独 <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ無し) <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ有)	負担割合	区	国	都	補助対象者
		上乗せの内容・理由				

3 交付実績

(件、千円)

項目	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(予算)
交付(見込み)件数	9	20	22	24
決算(予算)額	480	1,120	1,160	1,200
国庫支出金				
都支出金				
その他				
一般財源	480	1,120	1,160	1,200
交付実績の特記事項	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、一部の山村体験交流事業を中止したため、交付実績が減少した。			

4 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内容	判定	判定の理由(△、×の場合のみ記載)
必要性(公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	
	基本構想、総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	-	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	-	
効率性(有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	
	補助金の交付による効果が認められるか	○	
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	
適正性(適格性)(妥当性)※個人等の補助金については不要	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	
	法令等に抵触していないか	○	
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	○	
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	○	

5 効果、課題及び今後の方向性

効果	当該補助金により、充実した内容の交流事業を実施することができており、円滑な事業運営を図ることができている。また、参加者の満足度は高く、リピーターも多数いる。
課題	交流事業の内容によって、応募人数に偏りがあり、参加人数が定員に満たず、集客率が低いものがある。
今後の方向性	集客率が低いものについては、内容の見直しを図り、参加者の声を踏まえながら、より充実した交流事業を実施できるよう検討していく。